

■過去の展示歴－2015年

05/18～06/06 「日本大学文理学部のあゆみ－学祖山田顕義の始動－」

06/22～07/31 「謡本の世界－近世の出版文化と教養－」

10/05～11/02 「現された「満洲国」－〈満・蒙〉影写の多様性と受容－」

11/16～12/19 「写真でみる水辺の風景－都市近郊の昭和30年代を中心に－」

平成 27 年度 日本大学文理学部資料館 展示会

「日本大学文理学部のあゆみ ―学祖山田顕義の始動―」

会 期:平成27年5月18日(月)～6月6日(土)

開館時間:平日10時～17時(土曜は13時まで)

休 館 日:日曜

展示会概要

日本大学は、1889(明治 22)年に日本法律学校として誕生し、わが国の近代国家の成立に向け法典編纂に貢献した初代司法大臣・山田顕義を学祖とします。その後、1903(明治 36)年に日本大学と改称され、現在に至っています。

文理学部の歴史は、1901(明治 34)年、この日本法律学校に文理学部の前身である高等師範科が設置された頃から始まります。爾来、高等師範科の改組などの変遷とともに、1世紀余の星霜を迎えました。1958(昭和 33)年には文理学部として改組され、現在は人文系・社会系・理学系の3系統 18 学科から構成される複合学部として発展を続けています。

本展を通して、学祖・山田顕義の松下村塾時代から西南戦争期までを中心とした青年顕義の思想形成の一端を探るとともに、伝統を誇る文理学部の歴史的変遷を俯瞰し、過去を知り、現在に学び、未来に歩みを進める文理学部を理解する一助となれば幸いです。

主催:日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

協力:日本大学広報部大学史編纂課

[▲ページトップへ](#)

平成 27 年度 日本大学文理学部資料館 展示会

「謡本の世界 ー近世の出版文化と教養ー」

【会 期】

平成27年6月22日(月)～7月31日(金)

【開館時間】

平日10時～17時(土曜は13時まで)

【休館日】

日曜 ※7/4(土)・/19(日)は平日の時間で特別開館

【展示会の概要】

日本大学文理学部資料館展示会「謡本の世界 ー近世の出版文化と教養ー」では、文理学部所蔵の古典籍資料のうち、謡本(うたいぼん)を中心とした写本・版本類を選び、展示紹介します。

有吉保本学名誉教授の寄贈本の中から小謡本を中心とした江戸時代の版本類を選び、本学部所蔵の光悦本『葛城』(特製本)などの謡本や「能絵巻」などの能楽関連資料とともに展示します。また、光悦本『頼政』(色替り本)、伝本阿弥光悦筆謡本のほか、『絵本小謡』(豆本)など、貴重な個人蔵資料も併せて出品、紹介します。

江戸時代に刊行された小謡本は、多種の版本・絵入本が刊行され、頭書に日常便覧的な記事をも収めた往来物的な要素を加えた本が続出することなど、広く江戸時代の出版史・教育史からも注目されます。今回の展示をとおして、近世の謡本の世界や出版文化について理解を深め、古典芸能の魅力についても考える機会となれば幸いです。

【主催】日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【協力】有吉保氏(日本大学名誉教授)・日本大学国文学会・日本大学文理学部図書館

▲[ページトップへ](#)

日本大学文理学部資料館 展示会

「現された「満洲国」—〈満・蒙〉影写の多様性と受容—

会 期:平成 27 年 10 月 5 日(月)~11 月 2 日(月)

開館時間:平日 10 時~17 時(土曜 13 時まで)

休 館 日:日曜

※ただし、10/31(土)~11/2(月)は、大学祭のため 10 時~17 時まで特別開館。

展示会概要:

昭和 6(1931)年 9 月に勃発した満洲事変を経て、日本により建国された「満洲国」では、多くの写真が撮影されています。写真という記録が、被写体の客観性と共に、その記録を残すものの意志を何らかの形で内包するものであることをふまえれば、「満洲国」で日本人により撮影された写真は、日本が「満洲」と呼び慣わした地域の実態を、日本人が現そうとした「満洲国」に即して「影写」した記録でもあります。それは同時に、「満洲国」に関する写真が、日本人と現地実態の間にあった矛盾を含め、「満洲国」の多面性を示す好個な資料となり得ることを示しています。

今回の展示では、日本大学文理学部が所蔵する日本人により記録された写真などのビジュアル資料を中心に、「満洲国」に関連する同時代の記録をご紹介します。「満洲国」が内包した多面性の一端に迫りたいと考えています。

主催:日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

共催:日本大学文理学部情報科学研究所

協力:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

松本夏樹氏(武蔵野美術大学・大阪芸術大学非常勤講師)

劉建輝氏(国際日本文化研究センター研究部教授)

【特別講演会・ギャラリートーク開催のお知らせ】

〈ギャラリートーク〉

講 師:松重充浩氏(日本大学文理学部史学科教授)

日 時:10/24(土)11:00~11:40

10/31(土)11:00~12:00 **追加開催**

場 所:日本大学文理学部資料館展示室(図書館1階)

〈講演会〉

講 演 者:松本夏樹 氏(武蔵野美術大学・大阪芸術大学非常勤講師)

劉 建輝 氏(国際日本文化研究センター研究部教授)

日 時:10/24(土)13:00 開始

会 場:日本大学文理学部 3 号館3305教室

※どちらも参加費・事前申し込み不要です。どなたでもお気軽にご参加下さい。

平成27年度 日本大学文理学部資料館 展示会

「写真でみる水辺の風景

— 都市近郊の昭和30年代を中心に —

会 期: 平成27年11月16日(月)～12月19日(土)

開館時間: 平日 10時～17時(土曜 13時まで)

休 館 日: 日曜

※ただし、11/28(土)・29(日)は、10時～17時まで特別開館。

展示会概要:

かつて、東京湾岸には遠浅の干潟が続き、水辺の自然とともに暮らす人々の姿がありました。しかし、人口増加などに伴う埋め立てで、昭和30年代の東京都側では、そのほとんどが見られなくなっていました。一方の千葉県側においては、貝や海苔の養殖などの生業が残るとともに、都市近郊に位置することから潮干狩りや海水浴が行われていました。また、県内内陸の印旛沼でも漁業や渡船場がみられ、野菜行商にでる女性たちが都市と農村を結ぶ役割を担っていました。

本展では、これら当時の様子を記録した貴重な資料として知られる林辰雄氏撮影の写真を通して、人々の生活と密接に結びついた水辺の風景を紹介します。

主催: 日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

共催: 千葉県立中央博物館

[▲ページトップへ](#)